

芥川龍之介の

生と死

芥川龍之介

藤沢市文書館 提供

企画展

谷崎潤一郎

もう少し強くさへあつてくれたらば

芦屋市谷崎潤一郎記念館 提供

室生犀星

もう既う会へないのか?

室生犀星記念館 提供

堀辰雄

芥川龍之介は
僕の最もいい先生だつた。

菊地和世氏 提供

～ぼんやりした、余りにぼんやりした不安～

2019
10.1(火)～2020
1.26(日)

会場 田端文士村記念館

(JR山手線・京浜東北線「田端駅」北口より徒歩2分)

<https://kitabunka.or.jp/tabata/>

@bunshimura

入場無料

☎03-5685-5171

開館時間 10:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日

月曜日(祝日の時は火・水曜)、祝日の翌日(土日の時は翌火曜)、年末年始(12.29～1.3)

【主催】(公財)北区文化振興財団 田端文士村記念館 【共催】東京都北区

【協力】芦屋市谷崎潤一郎記念館、こおりやま文学の森資料館、國學院大學図書館、徳田秋聲記念館、日本近代文学館、藤沢市文書館、堀辰雄文学記念館、室生犀星記念館、山梨県立文学館

企画展

芥川龍之介の生と死

～ぼんやりした、余りにぼんやりした不安～

「ぼんやりした不安」。この言葉を最期に遺して去った芥川龍之介。その衝撃的な死は文壇のみならず社会にも大きな影響を与え、多くの議論を呼びました。

本展では、芥川龍之介の生と死に焦点を当て、芥川作品やその死と向き合った人々が残した資料を紹介し、未だに様々な憶測を生む「ぼんやりした不安」の正体を見つめます。



こおりやま文学の森資料館 提供

晩年の芥川龍之介

「続文藝的な、余りに文藝的な」原稿



芥川が谷崎潤一郎との文学論争時に執筆した原稿。芥川の文学理念が綴られている。

初公開資料①

「孤独地獄」原稿



芥川が東京帝国大学在学中に書いた作品。

新収蔵資料

「上海游记」原稿



中国視察を綴った原稿。帰国後から心身不調となり、晩年の芥川を悩ませる。

初公開資料②

「九谷の鉢」



親友・室生犀星から芥川へプレゼントされた鉢。

注目資料

企画展 関連講演会 「闇中問答 芥川龍之介と私」 参加無料

芥川と谷崎との「小説の筋」をめぐる論争や芥川の死について、芥川賞作家・藤沢周氏が解説！芥川文学の魅力とはいかに！？

講師：藤沢周氏（作家）

日時：2019年11月10日（日）14:00開演（13:30開場）

会場：田端文士村記念館ホール 定員：100名
※応募多数の場合は抽選

申込：往復はがきで10/21（月）必着。1通につき1名

往信の裏面：①「11月講演会希望」※同居家族に限り2名まで可

②郵便番号・住所

③氏名（ふりがな）④電話番号 ⑤年齢

返信の表面：住所・氏名

※郵便料金が改定されました。往信・返信それぞれ63円分の切手が必要です。



藤沢周氏

初のタイアップ!! 田端文士村記念館×文豪とアルケミスト

田端文士4人のキャラクターパネルが登場！



※「文豪とアルケミスト」とは、DMM GAMESより配信中の文豪をキャラクター化したシミュレーションゲームです。

©DMM GAMES

左より 萩原朔太郎、室生犀星、芥川龍之介、堀辰雄

主催・宛先・問合せ

（公財）北区文化振興財団

田端文士村記念館

TABATA Memorial Museum of Writers and Artists



〒114-0014 東京都北区田端6-1-2 ☎03-5685-5171

（JR山手線・京浜東北線「田端駅」北口より徒歩2分）※駐車・駐輪場は隣接の有料施設をご利用ください。

<https://kitabunka.or.jp/tabata/>

[@bunshimura](https://twitter.com/bunshimura)